

令和4年度第2回あま市行政改革推進委員会会議録要旨

と き 令和4年11月17日（木）
午前9時00分～午前10時30分
ところ あま市役所 本庁舎
3階 特別会議室

1. 出席者等

委員	9名
事務局	6名
傍聴人	0名

2. 会長あいさつ

- ・コロナの第8波ということで、非常に大変な状況になりつつある。
- ・厳しい財政状況が続き、社会情勢の変化による市民ニーズが多様化、高度化していく中で、市の職員の自主的な創意工夫による市民サービスの向上や、情報通信技術の活用による市民の利便性を高める仕組みなど、様々な取り組みが、必要である。
- ・幅広い視野から忌憚のないご意見をいただきたい。

3. 議題

(1) 第3次あま市行政改革大綱（素案）について

○事務局

資料「第3次あま市行政改革大綱（素案）」について説明。

【主な質問内容と回答】

(質問要旨)

- 2ページ「行革大綱の取組実績」に「取組中」とあるが、今後も継続していく必要があるかどうかの検証はしているのか。

(回答要旨)

- 第2次大綱については、計画期間が今年度までであり、最終的な検証は今年度が終了してからとなる。

現在は令和3年度の実績までの簡易的な記載となっているが、最終的には、よりしっかりした数字になるよう検討する。

(質問要旨)

- 6、7ページ「行政をとりまく環境変化」と「必要性」について、内容が重複しているので整理して一本化してはどうか。

(回答要旨)

- 表現について検討する。

(質問要旨)

- 市民サービスの変更とあるが、新庁舎開庁に伴い巡回バスを活用した交通の便等、そのような配置は考えているのか。

(回答要旨)

- 現在、甚目寺庁舎と本庁舎に、庁舎が分かれており、手続きによっては、二つの庁舎に跨るということがある。

行政機能を一つに集約することで、利便性の向上を図るという点で示している。
巡回バスについては、本庁舎を経由する新しい路線を現在検討している。

(質問要旨)

- 前の計画では、31 の取組項目があったが、この場で議論をするのか。

(回答要旨)

- 庁内で協議後、次回の本委員会でお示ししたいと考えている。

(質問要旨)

- 今の計画の検証というのは、速やかにやっていただかないといけないのではないか。

(回答要旨)

- 第2次大綱が完全に終了してから検証をすることが理想ではあるが、計画自体を中断することは望ましくない。

社会の変化やICT化の進展などを踏まえ、現状の中間的な評価を基に、次期大綱を策定するという考えである。

(質問要旨)

- 14 ページの本文「第3次あま市行政改革大綱は、第2次あま市総合計画に基づく施策の総合的かつ計画的な推進を下支えする様々な下位計画の1つとして位置付ける」とあるが、違和感があるため、他の表現はないか。

(回答要旨)

- 表現を変更する。

(質問要旨)

- 8 ページ「人口動向」について、社人研の推計準拠と独自推計とあるが、この根拠について説明してほしい。

(回答要旨)

- 「あま市総合計画」に記載もあるが、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した際のデータである。引用元について、表記する。

(質問要旨)

- 女性職員の管理職登用について、19.5%と低調である。
できることなら2割以上で、3割に向けて考えていただきたい。

(回答要旨)

- 職員の資質向上や人材育成も踏まえながら、女性職員の管理職割合について向上できるように、現在も取り組んでいる。

(質問要旨)

- 計画の進捗、進め方だが、大綱(素案)の一番後ろに、Plan、Do、Check、Actionと記載がある。

行政改革をしていくには、職員の意識改革が一番大事だと思う。

進捗管理をするのに、市長をトップとする推進本部で「必ずいつまでにやりなさい」とか、そのような議論をするのか。

(回答要旨)

- 前大綱で説明すると、8年間の計画を前期と後期の4年間ずつに分けた。
更に4年間の各年度における進捗状況を、本部会議で示して管理している。

(質問要旨)

- 進捗状況については、財政サイドの裏付けがされた上での計画になるか。

(回答要旨)

- 財政が伴うものについては考慮しながら進めていく。

(質問要旨)

- 表現が非常に抽象的だなという印象を受けた。

(回答要旨)

- 個別具体的な取組みについては、個別取組項目として、次回の会議で提示する予定である。

(質問要旨)

- 新庁舎開庁で、窓口が一本化され不便になる。その対策も記載してほしい。

(回答要旨)

- 引き続きサービスの低下がないように、取り組んでいく旨の記載を検討する。